



NO 5

November 2, 1963

スカウト活動に意味を与えるもの

副団委員長・伝道師 白神章道

先日、日比谷公会堂で教会学校生徒大会があり、約二千五百名が集った。私もスカウトと共に客席への誘導を手伝ったが、私服を着ている私の言葉はなかなか聞いてくれない。意を決して私もネッカチーフをしめた。ところがそれ以後はどんどん会場に入って来る人達をうまく誘導することが出来た。

どうも私達日本人は制服には弱いらしい。制服を着れば人が少し偉くなったように感じるらしい。土曜日に教会に集って来るスカウト達は隊長や副長、その他のリーダー達には立止って「今日わ」とやるけれども、私の前を半数は素通りしてしまふ。のこりの半数の半分がニコリ笑うが、半分は知らぬ顔である。制服を着ている方が偉いらしい。全くひがんでしまふ。制服への弱さは子供の頃から育つらしい。

しかし、この制服への弱さが一つの大きな危険性を持っている。それは命令で動く人間を育てる可能性を持っている。命令は階級の上から降るものであるから、命令で動く人間は、階級的な人間であり、命令が横行する社会は階級的社会である。そこにおいて人間は命令されるより、命令することを好むから、他人をおしのけ、手段を選ばないで他人の上に立とうとする。この階級社会が大きな間違いであることは、私達日本人は良く知っているはずである。

スカウトの制服はスカウト活動に力を与え、魅力を与えて、ぐんぐん引張って行く。スカウト達は皆、制服に誇りを感じ、喜びを持っている。しかし、それが同時に上記の危険性を含んでいる。ところが私達はそれに打勝つ力を持っている。スカウト教育の中心に信仰がある。もし、スカウト運動から信仰を除けば大変なことになる。そして我が才四団はキリスト教信仰を持っている。

スカウト運動の設立者ベーデン・パウエル卿は「我々はこの運動に軍事的な目的や訓練をもたないのである。人間同志に対する奉仕という理念だけである。言葉をかえれば、我々は日常生活や交際に、キリスト教信仰の実習をすることを目的としたもの」と明記している。

スカウト活動はキリスト教信仰に支えられて初めて、本来の力を発揮する。青少年白書は、現代の青少年非行のもっとも重要な原因として「無宗教」を上げている。

教会教育とスカウトによる実践教育、学校における知識教育、そして家庭教育、この四つが1人の人格を作り、明日の社会を作り上げて行くのである。

報 告

165団と交歓

去る10月19日、六本木にある156団、山王下にある165団と合同で、赤坂氷川小学校に於いて運動会を行なう予定でしたが、雨のため中止となり、165団のお友達約25名が、教会を訪問されました。4、165団混成で組を編成し、組別にゲームをしたり、スタンツの発表をし合い楽しい交歓のときをもちました。

久しぶりで交歓の機会を持つことができ、お互いよい刺激をうけたことでしょう。

共同募金8000余円に

10月5日、年少隊。12日、少年隊が共同募金に協力をしました。短時間でしたが、一生懸命に協力を呼びかけ、8千余円を募金することができました。

才1回指導者研修会終る

10月12、13日、飯牧師(育成会々長)を発題者としてお迎えして、田中、白神正副団委員長、遠山団委員、年少隊からは杉原隊長、古矢副長補、高島、萩原、里見、新崎、持地デンマザー、少年隊から飯田隊長、柳副長補、年長隊からは五十野副長、青年隊から今田隊長が参加し、発題により教会スカウトとは、教会スカウトの在り方、特に指導者の問題について話し合いを行ない、聖日礼拝の出席をもってプログラムを終了しました。

クリスチャン指導者連絡会

10月20日(日)午後3時から標記の会が開かれ、東京からは、4団(靈南坂)61団(立教中学・高校)、111団(日本福音ルーテル、聖パウロ教会)、142団(立教大学)、小金井1団(小金井信愛教会)、南多摩4団(日野台教会)から代表が、地方からは那須14団(西那須野教会)、山梨県事務局長、そして準備している教会、救世軍の方々や、クリスチャンで団に関係している方々が参加し、今後の問題点について意見の交歓をしました。次の会は1月中旬～下旬にかけて靈南坂で開かれますが、是非4団の訓練をその時に見学したいとのことです。がんばりましょう。

バザー盛会に終る

10月26日、生憎くの雨の中で開催された幼稚園主催のバザーは、皆様のご協力によって盛会に終了することができ、スカウト出品物は殆んど売れた模様です。準備やお世話下さったご父兄に心より感謝を。

当日、青年、年長隊々員が、子供の遊び場のお手伝いをした。カブはこのお客さんになって協力をしました。

人事往来

新崎デンマザー新生活に

4組デンマザー新崎久美子さんは、11月3日西木正雄氏と帝国ホテルにおいて華燭の典を挙げられる。永年てわたるご奉仕に心から感謝し、新家庭に幸多かれと祈ります。

秋の行事

秋のピクニック百草園に内定

秋のピクニックの候補地から百草園を選びました。11月10日(日)に実施します。スカウトは勿論ですが、久しぶりにご父兄とも交歓の時をもちますので多勢のご父兄が参加されるよう希望します。詳細については、プリントによってお知らせいたします。

合同訓練大会(運動会)について

11月23日(日)を開催日として準備がすすめられています。年少隊関係のプログラムが決定していますのでお知らせいたします。

当日はご父兄、知人の方の参加を歓迎しておりますが、詳細とその申し込みは団よりのプリントによって下さい。

記

日時 11月23日(日)午前10時～午後3時 風船割り 僕もスカウトに

会場 豊島園才1グラウンド 12:00～1:00 昼食

参加費 1000円(記念品代を含む) グラウンドショウ

プログラム 仮装行列 レンジャー部隊

10:00～10:30 開会式(パレード) ショウなど

10:30～12:00 カブの集い 1:00～2:30 スカウトの集い

二人三脚リレー 綱引き 東京をきれいに 2:30～3:00 閉会式(パレード)

なお、東京連盟では、この大会を成功させるために賛助会員を募集中です。1口1000円。ご父兄、知人でご協力いただける方がありましたら、指導者までお申し込み下さい。

---カブのへや---

カブのへやは、ふるいたてもものため雨がもるので、こんどはボーイスカウトのへやのとなりになりました。じぶんたちのすですからカブのひとたちも、きれいにしておかわいがってください。

くみのはこは、1ばんはやく来たひとがカブのへやからだしててください。そして、みんながはこをつかうようにしよう。

くみしゅうかいなどでつかったあとは、いつでもきれいにあとかたづけをしておこう。

11がつは、テーマは絵図です。ピクニックでのスケッチや、クリスマスカードにじぶんのうでをふるってください。

モットーは「へんじは はい」です。たたくへんじができるようにやってみよう。

11月 プログラム			
<テーマ> とりいれ		<モットー> へんじは「はい」と	
集会日	集会時間	集会種類	内容
2	2:30~4:30	組集会	○組別に料理をつくる
9	2:30~4:30	隊集会 組集会	○ピクニックの相談(信号を考える)
10	8:00~4:00	月例会 (ピクニック)	○ピクニックの実施(百草園) ○矢章授与 ○風景のスケッチ
17	2:30~4:30	組集会	○クリスマスのおし物の相談 ○クリスマスカード作りと飾り物の相談
23	7:30~4:30	隊集会 (大運動会)	○東京連盟大運動会に参加
30	2:30~4:30	組集会	○カード作りと飾り物の作成

プログラムより

- 5日 三角布、マスク、エプロンを全員持参する。その他は組各にテンマザーの指示による。
- 9日 ピクニックの申し込みをすませる。暗号を考えてくる。
- 10日 忘れものがないように、そしておくれのないようにする。
- 17日 クリスマスについて、いろいろ考えてくる。
- 23日 運動靴をはいて参加する。
- 30日 工作に必要なものを持参する。

おめでとー(おたんじょう日)

- 20日 川田裕人(5組デンチーフ)

父兄会開催について

秋の行事(ピクニック、大運動会)を間近くし、クリスマスも近くやってきます。そして、いよいよ来年は発足10年となります。ご相談することが多くあります。ご家庭より1名必ずご出席下さい。 11月9日(土) 午後3時~4時半

編集後記

秋には珍らしく永雨となり、激しい雨の音を聞きながら、さぞかしカブたちは身のおきどころがなくて困っていることだろう。

段々と遊び場が少くなり、子供達の遊び場や、遊び方が変わってくるにつれ、週1回僅か2時間であるが、カブのプログラムがいかに大切であり、カブがどんなに楽しみにしているかを思うにつれ、越えさせた。……何となく終わってしまったでは……。プログラムを無事に終っただけを喜ぶのではなく、それに意味をと思い乍ら、やっぱり……楽しく済んだことを喜んでしまう。進歩がないなあと思いつつ。